



1

©Daido Moriyama Photo Foundation , Courtesy of Akio Nagasawa Gallery

森山大道「記録55号」

この度、Akio Nagasawa Gallery Aoyamaは、森山大道個展「記録55号」を開催致します。

森山の『記録』とは「日常で撮ったものをすぐに焼いて、近くの人たちに手渡して見せるという最小限のメディアを」と模索する中、1972年に始められた私家版写真誌です。翌年の第5号をもって一時休刊となりましたが、2006年にAkio Nagasawa Publishingより復刊され、現在も継続刊行中です。森山曰く「ぼくにとって、記録はライフライン。電気、水道、ガスと同じで、なくてはならないもの。記録の存在があるから一歩が踏み出せる。常に自分を振り返ることが出来るパーソナルメディア。」

本展では、『記録』最新号である55号より作品を展覧致します。また、会場ではこれまで刊行された全ての『記録』を販売致します（在庫がある号のみ）。常に現在進行形の森山大道の活動を体感ください。

日によって、60～70カット撮ることもあれば、せいぜい20カット程度のときもある。でも、それはそれでぼくの気が済めばよいわけだ。

とは言うものの、ぼくのなかから、徐々に新宿の路上風景が遠のきつつあるかのような思いがしないでもない。まずいぜオレということだ。

— 『記録』55号 森山大道あとがきより（一部抜粋）

《開催概要》

作家名	森山 大道（英表記：Daido Moriyama）
タイトル	「記録55号」展
会期	2023年10月5日（木）～10月28日（土） 11:00-13:00 / 14:00-19:00 木～土曜（日～水曜・祝日休廊）
会場	Akio Nagasawa Gallery Aoyama 〒107-0062 東京都港区南青山5-12-3 Noirビル2F TEL：03-6427-9611 FAX：03-6427-9612
公式ページ	https://www.akionagasawa.com/jp/exhibition/record-no-55/

《作家略歴》

森山大道

1938年大阪生まれ。写真家・岩宮武二、細江英公のアシスタントを経て1964年に独立。

写真雑誌などで作品を発表し続け、1967年「にっぽん劇場」で日本写真批評家協会新人賞受賞。1968-70年には写真同人誌『プロヴォーク』に参加、ハイコントラストや粗粒子画面の作風は“アレ・ブレ・ボケ”と形容され、写真界に衝撃を与える。

ニューヨーク・メトロポリタン美術館やパリ・カルティエ現代美術財団で個展を開催するなど世界的評価も高く、2012年にはニューヨークの国際写真センター（ICP）が主催する第28回インフィニティ賞生涯功績部門を日本人として初受賞。2012年、ウィリアム・クラインとの二人展「William Klein + Daido Moriyama」がロンドンのテート・モダンで開催され、2人の競演は世界を席卷した。2016年、パリ・カルティエ現代美術財団にて2度目の個展「DAIDO TOKYO」展を開催。2018年、フランス政府より芸術文化勲章「シュヴァリエ」が授与された。2019年、ハッセルブラッド財団国際写真賞受賞。2021年、パリのMEP（La Maison Européenne de la Photographie／ヨーロッパ写真美術館）にて東松照明との二人展「Tokyo: 森山大道+東松照明」を開催。2022年、アムステルダムやローマ、サンパウロ、北京で個展を開催するなど、現在も精力的に活動を行っている。

[作家オフィシャルサイト](#)

《販売予定書籍》

『記録』9号～55号 ※在庫がある号のみ、6号～8号は完売

『記録1-5号』（完全復刻版）

『記録』（Akio Nagasawa Edition）※1号～30号のダイジェスト版

別冊記録 第1号『森山大道×沢渡朔』

『Pretty Woman』『LABYRINTH』他

全て森山大道サイン入り

[公式オンラインショップ](#)

《広報・ご取材に関するお問い合わせ》

AKIO NAGASAWA Gallery | Publishing (担当: 後藤) goto@akionagasawa.com

《広報用画像》

ご希望の画像番号をお申し付けください。

©Daido Moriyama Photo Foundation , Courtesy of Akio Nagasawa Gallery



2



3



4



5



6